

はじめに

2016年4月に熊本地方を中心に、九州では初めてとなる震度7を観測する地震が2回相次いで発生しました。震災で被害に遭われた方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

さて最近の世界経済は、それまでの減速の流れに歯止めがかかった模様。減速が続いた中国も投資主導型経済から消費主導型経済への構造改革や製造業の高度化を進めているほか、サウジアラビアなどの資源国も構造改革の取組を始めています。

我が国経済も持ち直してきており、海外経済や金融資本市場の動向等への懸念がある一方、旅行・観光分野の回復、受注や求人増加の継続等への期待がされています。

また2016年6月、政府は「日本再興戦略2016」を発表し、様々な課題解決にむけた取組を実施するなど、アベノミクスの推進により、名目GDPの増加や雇用の拡大といった経済の好循環が生まれました。

当局におきましても、九州の強みを活かした戦略を取りまとめた「九州・沖縄 Earth 戦略」を着実に推進し、地域経済の活性化を促進するとともに、九州地域における国際戦略としてアジアとの海外ビジネスの深化・拡大、グローバル産業人材の育成・活用促進及び、中小企業の海外展開支援等を通じて九州経済国際化の推進に取り組んでいるところです。

これらの取り組みを進めるにあたり、九州地域の貿易動向など海外ビジネスを展開するうえで基礎となる情報を整理した「九州経済国際化データ2016」を取りまとめました。

2016年版では、巻頭特集として、九州において様々な分野でグローバル展開を図っている企業等を5者選定し、その活動状況を紹介しています。九州においても、様々な分野でグローバル展開は進んでおり、今後も益々活性化することが期待されます。

本編は昨年までと同様に「九州の国際化についての基礎知識」、「アジア諸国等と九州の経済関係」、「分野別に見た九州の主要産業」の3部構成でまとめていますが、トピックスとしてTPPや熊本地震における観光の影響等についても取り上げてみました。

本資料が、九州各界において、経済の発展、国際化の推進の一助となれば幸いです。

2016年12月
九州経済産業局